

名古屋大学大学院理学研究科理学専攻生命理学領域
助教（テニュアトラック）の公募

名古屋大学大学院理学研究科理学専攻生命理学領域では、細胞制御学グループの助教（テニュアトラック教員）1名を公募します。

1. 公募人員：助教（テニュアトラック教員） 1名
2. 所属部門：細胞制御学グループ
3. 専門分野：マウスを用いた神経科学、生理学または分子細胞生物学
4. 着任時期：2023年9月1日以降のできるだけ早い時期
5. 任期：5年（東海国立大学機構名古屋大学テニュアトラック制に関する規程に基づき、審査を経てテニュアを付与。詳しくは下記 URL 参照のこと。
https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/content/content110001177.htm)
6. 応募資格：
 - ・博士学位又は Ph. D. を有すること。
 - ・神経科学分野または分子細胞生物学分野で十分な研究業績を有し、主任研究者 (PI) としての独立を目指していること。
 - ・細胞制御学グループの教員として、木下 専主任教授、西川助教および他のメンバーと協力して大学院及び学部における研究と教育に熱意と責任感をもって取り組むこと。

<http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/laboratory/cr.html>
<https://sites.google.com/site/kinoshitalabnagoya/>
7. 提出書類：
 - (1) 履歴書（顔写真付き）
 - (2) 論文目録（原著論文とそれ以外を分けて記載）
 - (3) これまでの研究概要（2ページ以内）
 - (4) 今後の研究計画（1ページ以内）
 - (5) 教育に関する経験と抱負
 - (6) その他参考となる事項

①科学研究費補助金及び研究助成金の獲得状況

- ②国際会議での招待講演等の記録
 - ③シンポジウム、ワークショップ、教育コース等に対する活動状況
 - ④所属学会、学会活動、受賞等
- (7) 応募者をよく知る研究者3名（うち1名は、現所属先の長）の連絡先
- (8) 主要論文5編（PDFファイル）
- (9) 類型該当性の自己申告書（本公募要項に添付の様式1を使用すること）

8. 公募締め切り：2023年4月28日（金）必着

9. 提出方法及び問合せ先：上記（1）から（9）を1つにまとめたPDFファイルをJREC-IN Portal Web 応募にアップロードしてください。質疑応答にもJREC-INのシステムを使用します。

10. 選考方法：

- ・書類選考の上、公聴会及び面接選考を実施します。
- ・面接選考対象者には、電子メールで連絡を行います。
- ・選考結果は、最終候補者が決定した後に通知します。

11. 応募の際の注意：

個人情報厳重に管理して、目的外使用あるいは選考に関係のない第三者への開示は致しません。応募データは、本選考終了後、責任を持って処分します。また、面接に要する交通費は、支給しません。

なお、名古屋大学は研究大学強化促進事業の一環として、外国人および女性研究者の募集を推進しています（http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/ru/menu_b/index.html）。

12. その他

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員および学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募する際には、「類型該当判断のフローチャート」（別紙）に基づく「類型該当性の自己申告書」（様式1）の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」を提出いただきます。

類型該当性の自己申告書

名古屋大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局 _____

氏名 _____

類型①に該当 類型②に該当 類型③に該当 いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください
該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは
予定

(_____)

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書(雇用通知書・契約書)、海外機関からの資金提供通知書(個人)、奨学金の受給通知もしくは申請書など

(_____)

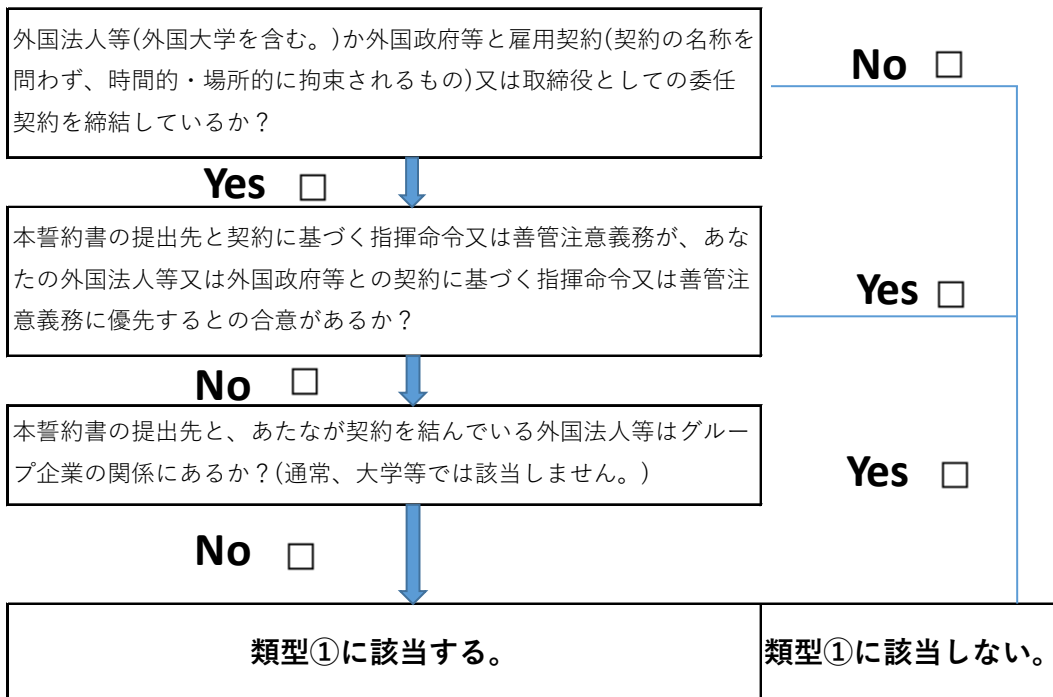
※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

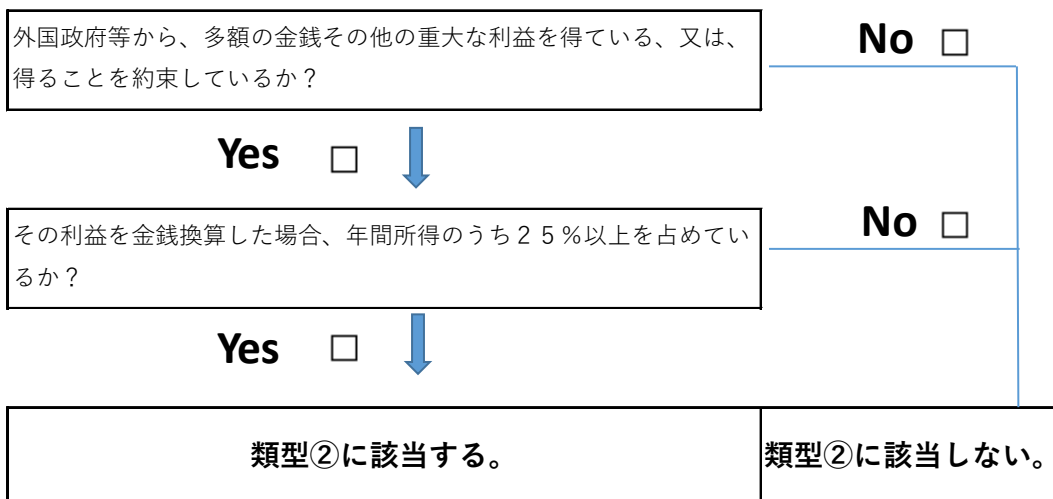
E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

類型該当性判断のフローチャート

類型①



類型②



類型③

